

業績の概要

応募部門	業績題目	応募者名
地域部門	路上表層再生機を使用した路面維持工法 「ヒートドレッシング工法」	福田道路株式会社

業績の概要

『ヒートドレッシング工法』は、既設舗装を現位置で加熱・かきほぐし、新規混合物と混合のうえ再度敷均す路上表層再生工法の施工厚を30mmとした、路面維持工法である。従来の路上表層再生工法は機械編成が長大で、施工箇所がある程度限定される事が課題であったが、施工厚を薄くしたこと及び路面ヒーター車の1台当たりの加熱能力向上により、機械編成が簡易化され、施工コストも縮減できることから県市町村道など小規模工事にも施工可能となり、適用箇所が拡大した。また、改良厚が30mm(既設舗装かきほぐし20mmとし敷均し30mm)であり、あくまでも表層の供用性回復を目的とした『ヒートドレッシング工法』は、舗装の構造的破損には対応しておらず、路面破損に対応した技術である。適用に際しては構造的に健全な箇所を対象とするが、限られた予算で膨大な延長を管理する道路管理者のニーズと、大型車の通行量がそれほど多くなく、路面破損が比較的多い県市町村道の道路特性にマッチした工法であり、今後さらなる普及が見込まれる工法である。



施工状況



施工前のクラック(右)と施工後にクラックが閉塞している状況(左)

業績の特徴

『ヒートドレッシング工法』は、既設舗装の老化により発生したひび割れを閉塞する事で舗装の劣化を抑制するとともに、舗装表面がリフレッシュして供用性が回復する。工法の特徴として以下に整理する。

- ①かきほぐし厚さが20mmと薄層であるため、既設舗装の過度な加熱を抑制することができる。
 - ②路面ヒーター車の1台当たりの加熱能力を増大させたことにより、機械編成を少なくすることが可能となり、一般道路で適用しやすくなった。
 - ③新規合材の使用量が少なく、また、廃材の発生もほとんど無い。
 - ④既設舗装のクラックが閉塞し下層と一体化することで、既設舗装が延命に寄与する。
- このような特徴から、『ヒートドレッシング工法』は、環境に優しく、ライフサイクルコストにも優れた工法である。

◆機械編成

